

平成24年度第1回富山市入札監視委員会の概要

開催日時・場所	平成24年8月6日（月）午前9時45分から11時45分 富山市役所第4委員会室
委 員 員 (委員数5名) 出 席 4名	委員長 古田俊吉（富山大学教授） 委員 新畠彬（大沢野地域審議会会長） 委員 島谷武志（弁護士） 委員 高見まち子（税理士）
欠 席 1名	委員 彼谷環（富山国際大学准教授）
次 第	1 開会 2 富山市の入札・契約手続の運用状況について ・富山市の建設工事等の入札・契約制度について ・入札・契約事務の改善について ・指名停止等の運用状況について ・入札・契約方式別の発注工事及び落札率について 3 審議対象工事の抽出について 4 抽出工事の審議 5 審議結果のまとめ 6 閉会
対象期間	平成23年10月1日から平成24年3月31日まで
抽出工事 (落札率)	10件（対象工事件数341件） ① 一般競争入札（4件） ・中市公園外施設整備工事（96.29%） ・太田小学校校舎改築主体工事（82.93%） ・上水道八尾町館本郷舗装復旧（第1工区）工事（81.56%） ・富山公共下水道下新第1排水区下新本町地区下新川雨水幹線築造（第1工区）工事（98.44%） ② 指名競争入札（5件） ・市道石坂安養坊線外側溝補修工事（99.36%） ・上富居地区水路改良工事（98.87%） ・大沢野西排水路新設（第5工区）工事（98.18%） ・市道上大浦田畠線道路交通支障箇所改善工事（88.66%） ・H23災3630-3008 北山下用水路災害復旧工事（99.64%） ③ 隨意契約（1件） ・岩瀬汚水中継ポンプ場No.2汚水ポンプ吐出流量計更新工事（99.66%）
審議の概要	別紙のとおり
委員会の意見	平成23年度下半期分の富山市発注の建設工事に係る入札・契約については、概ね適正に行われていたと判断する。

別 紙

意 見 ・ 質 問	回 答
①平成 23 年 10 月 1 日から舗装工事における市外業者の入札参加要件が「直接的かつ恒常的な雇用関係にある日数及び県内市町村に住民登録されている日数が 90 日以上となる者を 10 人以上雇用する営業所を市の区域内に有すること」と変更になっているが、その経緯や目的は何か。	①大手の市外業者の場合、富山に営業所があつても雇用者を県外から調達することがあり、この点について市内業者との平等な競争性を確保するために雇用者の県内市町村の住民登録という地域貢献度を要件として加えた。
②「中市公園外施設整備工事」の入札で応札した業者は 9 者であるが、金額的にはかなり近接している。土木系の工事ではこういう傾向なのか。	②造園・土木工事に関しては工事設計単価が公表されており、積算しやすいため近い金額になると考えられる。
③舗装機械のオペレーターについて、入札参加申請書の申請日以前 90 日以上の直接的かつ恒常的な雇用関係をどのように確認しているのか。	③健康保険証等で確認している。
④随意契約の工事についても前払金を支払うのか。	④請負金額が 200 万円以上であれば、富山市土木建築工事費の前金払取扱規則に基づいて、請求があれば支払っている。
⑤機器設備設置工事の入札では納入後の保守管理を含めて入札することはできないのか。	⑤市役所の予算は原則単年度予算であることから保守管理を含めて入札することはできない。
⑥仕様や規格が決まっている物品購入とは違い、工事の場合は請負額と出来形の品質の評価が難しい。事後評価をしっかりと行うことで指名基準の妥当性を検討する必要がある。	
⑦格付が異なるランクの業者を同時に指名すると、全体的にランクが上の業者が落札しているようだがよくあることなのかな。	⑦指名は指名基準に基づき行っているが、その結果についてランク別の業者の落札割合を算出するような分析は行っていない。